



Client Matter Code

Client Matter Code (CMC) は、コールアカウントリングおよび支払請求可能なクライアントに対する課金を支援します。CMC では、コードを入力して、コールが特定のクライアント マターに関連していることを指定する必要があります。Client Matter Code は、コールアカウントリングおよび課金の目的で、カスタマー、学生、またはその他の人々に割り当てることができます。

CMC 機能では、ルート パターンを変更し、ダイヤルプランのドキュメントを更新して、各ルートパターンに対して使用可能または使用不可にした CMC を反映させる必要があります。Client Matter Code の検索ウィンドウおよび設定ウィンドウには、[Cisco Unified CallManager の管理] の [コールルーティング] > [CMC] からアクセスできます。

Client Matter Code の詳細については、『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「Client Matter Codes と Forced Authorization Codes」を参照してください。

参考資料

- *Cisco Unified CallManager Bulk Administration ガイド*
- *Cisco Unified CallManager Serviceability システム ガイド*
- *Cisco Unified CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド*

